記者発表資料

令和８年８月１３日
東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

田瀬ダムの『水質保全装置』の稼働などをさらに強化します

～ アオコ増殖抑制と水質への影響最小化のため8月13日から ～

田瀬ダムでは、平成11年頃からダム湖において「アオコ」が発生し、その抑制を目的として、平成19年から『水質保全装置（散気式曝気装置：水中に空気を送りダム湖の水を循環させる装置）』を配備し、本年も6月1日から装置4基を稼働させています。

7月21日からアオコの増殖抑制を目的に水質保全装置の稼働を強化して参りましたが、8月上旬に実施した水質分析結果で、2地点において水質への影響を示唆する項目※が、基準値を上回ったことが確認されました。

現時点では明確なアオコの発生は確認されていませんが、貯水池監視の取り組みをさらに強化するほか、『水質保全装置』においては8月13日からアオコの増殖抑制と水質への影響効果をより一層高める稼働を開始して、引き続き水質保全に努めて参ります。

※項目名：ジェオスミン

■水質保全装置の運用計画

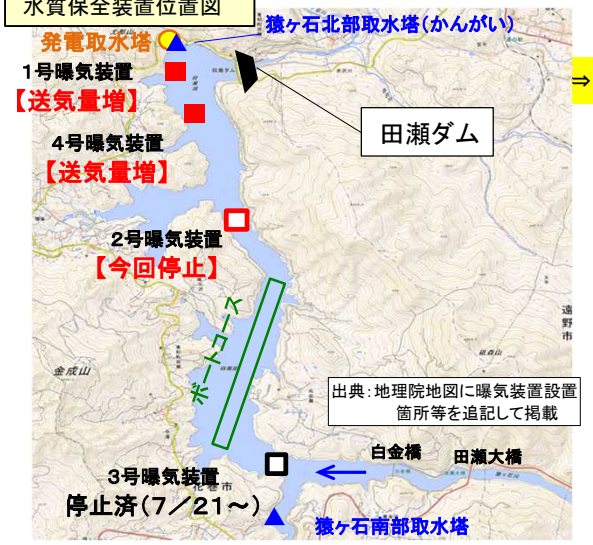
1. 運転期間：　令和8年6月1日（月）～10月30日（金）【予定】

2. 運転方法：　8月13日から装置2基に送気量を全集中させ、循環効果をより一層高める稼働を開始

3. 監視体制：　巡視頻度や水質調査など監視体制を強化

項目	6月1日～	7月21日～	8月13日～	主な内容
ダム湖巡視	2回／月	2回／週	2回／週	目視、フィルターによる確認
水質自動監視	常時	常時	常時	水温、pHなど
定期水質調査	1回／月	1回／月	1回／月	pH、植物プランクトンなど
臨時水質調査	－	2回程度	－	発生直後、14日後を目安に実施予定 pH、植物プランクトンなど
詳細水質調査	－	－	1回／週	pH、植物プランクトンなど

水質保全装置位置図

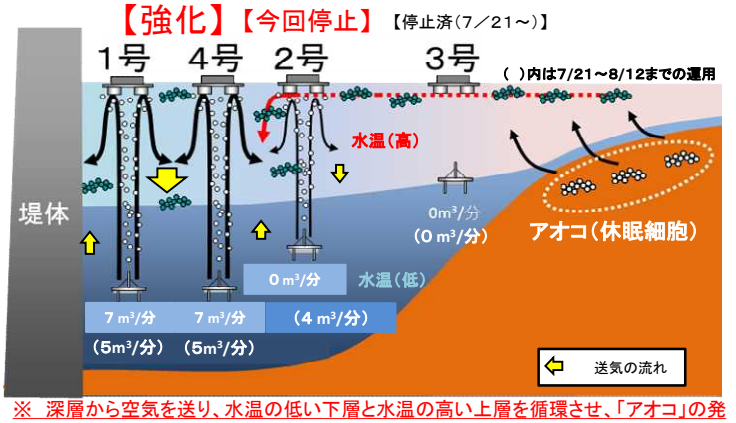


■稼働中

【アオコ増殖抑制を重視※した水質保全装置の稼働（8/13～）】

※水深が深い場所の装置の稼働をさらに強化

⇒3号のほかに2号停止分の送気を1、4号へ集中させ**循環効果をさらに促進**



※　深層から空気を送り、水温の低い下層と水温の高い上層を循環させ、「アオコ」の発生や増殖などを抑制します。

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ、花巻記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123　盛岡市下厨川字四十四田1番地
副所長　阿部（あべ）誠（まこと）　（内線 205）
管理第一課長　井戸（いど）喜六（きろく）　（内線 331）
（代表TEL：019-643-7831）

北上川ダム統合管理事務所　田瀬ダム管理支所
〒028-0123　花巻市東和町田瀬39-1-3
支所長　千葉（ちば）孝寿（たかとし）　（内線 6221）
（代表TEL：0198-44-5211）